

平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	3 章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち（社会福祉の充実）			
	施策（大柱）	6 節 保健・医療	H20 実施計画事業費合計	1,263,926 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
	中柱	1 地域保健活動の推進		4,706 千円	
		2 生涯を通じた健康づくりの推進		787,751 千円	
				千円	
			千円		
施策に關係する所属	母子保健課、成人保健課、子ども支援課、市民相談課、市民医療センター				

② 施策の概要	1) 基本方針及び施策の目的	○「健康日本21所沢市計画」に基づき、日頃からの生活習慣改善や健康増進のため、健康づくり支援事業に取り組み、健康寿命の延伸をめざす。 ○疾病の早期発見・治療をはかるため、各種検診や健康診査、人間ドック事業に取り組み。 ○市民が必要なときに必要な医療が受けられるように、医療体制の充実と医療機関相互の連携を進める。
	2) 施策の具体的な内容及び実施方法	○地域保健活動の推進 関係機関と健康づくり支援ネットワークを構築するとともに、地域での健康づくり活動を育成支援する。 ○生涯を通じた健康づくりの推進 妊婦・乳幼児の健康づくりや育児支援、生活習慣病の予防や生活機能低下への予防などに取り組む。さらに、歯の健康、心の健康、感染症への対策などに取り組む、健康寿命の延伸を目指す。 ○地域医療の充実 医療機関や医療関係者の協力を得ながら、地域医療体制の整備を進める。さらに、人間ドック・小児診療など市民医療センターの充実や、在宅での医療の充実に取り組む。
	3) 分野別計画、指針	○健康日本21所沢市計画 ○所沢市障害者計画 ○所沢市次世代育成支援行動計画 ○所沢市高齢者保健福祉計画
	4) 関連・類似施策	○3-2児童福祉 ○3-3高齢者福祉 ○3-5社会保障
	5) 施策に対する市民ニーズ	『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。

③ 優先的に取り組む事業	6) 施策に係る基礎数値					
		項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
		がん検診受診者数（胃・肺・子宮頸部・乳・大腸の合計）	人	23,939	25,082	27,515
		出生数（歴年）	人	2,930	3,062	2,993
		所沢市保健医療担当保健師数	人	29	30	30
		所沢市民医療センター小児夜間診療患者数	人	5,711	4,974	5,511
		所沢市民医療センター人間ドック受診者数	人	11,493	11,356	11,736

④ 5年後の目標／成果指標	指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標
	【5年後の目標】朝の目覚めが快適な市民の割合	健康施策全般の成果を測る指標	%	年度 17	目標値 54.4	55.8	57.2	58.6	60.0	年度 22
				実績値	64.2	66.0		実績値の拡大を目指す 1		目標値 60.0
				達成率	118.0%	118.3%				
				53.0						
⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み	指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標
	普段、朝食を食べていない子どもの割合	朝食を食べない児童の割合。食育の観点から、この割合を減らす。	%	年度 17	目標値 3.8	3.6	3.4	3.2	3.0	年度 22
				実績値				実績値の拡大を目指す 2		目標値 3.0
				達成率	4.0					
				4.0						
⑥ 評価（課題及び目標方向性）	指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標
	がん検診受診者数	第3期高齢者保健福祉計画における、保健サービスの目標量を示す指標	人	年度 17	目標値 35,743	47,547	59,351			年度 20
				実績値	25,025	27,515		実績値の拡大を目指す 1		目標値 59,351
				達成率	70.0%	57.9%				
				23,939						

⑥ 評価（課題及び目標方向性）	1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	現在の進捗状況								
	小児二次救急医療体制の確立のための3市（所沢市・狭山市・入間市）初期救急医療体制の充実強化。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向				
	乳幼児健康診査未受診者の状況把握の徹底。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向				
	老人保健法廃止に伴う各種保健事業の「健康とことろ21」への円滑な移行。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移	<input type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向				
	各種がん検診受診率向上、要精検者全員受診の促進。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向				
平成17年度に制定された食育基本法に基づき、埼玉県が食育基本計画を作成。本市における計画作成の推進。	<input type="checkbox"/> 課題の解決	<input type="checkbox"/> 予定以上	<input type="checkbox"/> 順調に推移	<input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず	<input type="checkbox"/> 悪化傾向					
2) 平成20年度における目標設定	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)						時期(いつまで)		
医療制度改革に伴い老人保健法が廃止。各種保健事業が「健康とことろ21」に移行(目標数値の再設定)。	所沢市健康づくり市民会議の意見を踏まえ、各種保健事業の数値目標を設定していく。							平成21年3月		
3) 今後の方向性(事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など)	小児二次救急医療週7日輪番体制の確立を図るため、医療圏を構成する3市（所沢市・狭山市・狭山市）がそれぞれの小児初期救急の休日・準夜間体制の充実強化を図っていく。 保健事業については、当市の健康増進計画である「健康とことろ21」に基づき、引き続き子供から高齢者まで生涯を通じた健康づくり施策を推進していく。また、医療制度改革に伴って必要となった各種保健事業の新たな目標数値の設定を今年度中に行う。 母子保健事業については、平成20年度からスタートした生後4ヶ月までの乳児のいる全家庭に対して保健師・看護師等が訪問・支援する「こにちは赤ちゃん事業」の推進、乳幼児健康診査（3ヶ月児・1歳6ヶ月児・3歳児）の受診率の向上と併せて、未受診児の状況把握を徹底することにより訪問指導率の向上に取り組み、「子どもの心の安らかな発達の促進と育児不安の軽減」を進める。									
評価日	平成20年8月6日	記入者職氏名	保健福祉部保健センター長 新井 敬治							

平成 20 年度施策評価表

① 総合計画	まちづくりの目標	3 章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち（社会福祉の充実）			
	施策（大柱）	6 節 保健・医療	H20 実施計画事業費合計	1,263,926 千円	※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。
	中柱	3 地域医療の充実		471,469 千円	
				千円	
				千円	
			千円		
施策に関係する所属	母子保健課、成人保健課、子ども支援課、市民相談課、市民医療センター				

② 施策の概要	1) 基本方針及び施策の目的	○「健康日本21所沢市計画」に基づき、日頃からの生活習慣改善や健康増進のため、健康づくり支援事業に取り組み、健康寿命の延伸をめざす。 ○疾病の早期発見・治療をはかるため、各種検診や健康診査、人間ドック事業に取り組み。 ○市民が必要なときに必要な医療が受けられるように、医療体制の充実と医療機関相互の連携を進める。
	2) 施策の具体的な内容及び実施方法	○地域保健活動の推進 関係機関と健康づくり支援ネットワークを構築するとともに、地域での健康づくり活動を育成支援する。 ○生涯を通じた健康づくりの推進 妊婦・乳幼児の健康づくりや育児支援、生活習慣病の予防や生活機能低下への予防などに取り組む。さらに、歯の健康、心の健康、感染症への対策などに取り組む、健康寿命の延伸を目指す。 ○地域医療の充実 地域医療体制の整備を進めるとともに、献血推進事業に取り組む。さらに、人間ドック・小児診療など市民医療センターの充実や、在宅での医療の充実に取り組む。
	3) 分野別計画、指針	○健康日本21所沢市計画 ○所沢市障害者計画 ○所沢市次世代育成支援行動計画 ○所沢市高齢者保健福祉計画
	4) 関連・類似施策	○3-2児童福祉 ○3-3高齢者福祉 ○3-5社会保障
	5) 施策に対する市民ニーズ	『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。

③ 優先的に取り組む事業	6) 施策に係る基礎数値					
		項目名	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度
		がん検診受診者数（胃・肺・子宮頸部・乳・大腸 合計）	人	23,939	25,025	27,515
		出生数（歴年）	人	2,930	3,062	2,993
		所沢市保健医療担当保健師数	人	29	30	30
	所沢市民医療センター小児夜間診療患者数	人	5,711	4,974	5,511	
	所沢市民医療センター人間ドック受診者数	人	11,493	11,356	11,736	

事務事業名	成果指標名	指標の説明	単位	H19目標	H19実績	達成率%	将来目標
040902 健康日本21計画推進事業	朝の目覚めが快適な市民の割合	市民意識調査の結果	%	60	66	110.0	60
040813 乳幼児健康診査事後管理指導事業	未受診者把握率	未受診者状況把握数/対象者数	%	100	78.5	78.5	100
040814 訪問指導事業	訪問指導実施率	訪問世帯数/訪問対象世帯数	%	100	26.2	26.2	100
090102 小児夜間診療事業	1日の患者数	年間患者数/診療日数	人	20	18.1	90.5	20

※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画一中柱」に位置づけられたものが記入されます。

指標名	説明	単位	基準値	H18	H19	H20	H21	H22	将来目標	
【5年後の目標】朝の目覚めが快適な市民の割合	健康施策全般の成果を測る指標	%	年度	目標値	54.4	55.8	57.2	58.6	60.0	年度
			実績値	64.2	66.0	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値	
			達成率	118.0%	118.3%			60.0		
小児科の夜間診療日数	所沢市民医療センターにて、夜間診療を実施する小児夜間診療・二次救急診療の日数	日	年度	目標値	350	354	357	361	365	年度
			実績値	296	305	365	実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2		1	目標値
			達成率	84.6%	86.2%	102.2%			365	
		%	年度	目標値						年度
			実績値				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値
			達成率							
		%	年度	目標値						年度
			実績値				実績値の拡大を目指す1 縮小を目指す2			目標値
			達成率							

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み

小児夜間診療事業については、診療を実施していなかった祝日、年末年始も関係機関の協力を得て、11月から診療を開始し準夜帯の365日診療体制を確立した。人間ドック事業については、さらなる健診の円滑化と受診者サービスの向上を図るため、保健師の間診を2人体制で実施。また、平成20年度から特定健診が実施されるため、腹囲測定など実施に向けた対応を行った。

⑥ 評価（課題及び目標）	方向性	現在の進捗状況					
		課題の解決	予定以上	順調に推移	状況変わらず	悪化傾向	
		1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		小児夜間診療については、準夜帯の365日診療体制を確立したが、深夜帯については水曜日の1日である。安心して子育てができる環境整備の一環として、広域的な連携も視野に入れた深夜帯の診療体制の確立が課題である。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		人間ドック事業については、精密検査の指示が増える傾向にあることから、特定健診との連携も踏まえ、健診後の生活習慣病改善に向けた指導の充実を図ることが課題である。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2) 平成20年度における目標設定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
深夜帯の小児救急医療の充実を図る。	24時間診療を1日追加し、週2日行う。	今年度中
特定保健指導を実施する。	特定健診実施者のうち特定保健指導対象者に生活習慣病改善に向けた指導を行う。	9月

3) 今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）

小児夜間診療事業については、所沢市の市民も利用している都立清瀬小児病院が、平成22年3月末で府中市に新設する小児総合医療センターに移転統合される。また、現在、所沢市、入間市、狭山市で構成される西部第一医療圏では、小児の二次救急が週3日のみの実施であり、崩壊の状態にある。このような状況下で、この事業の重要性は益々高まってきている。今後も関係医療機関との連携を強化しながら、役割分担を調整し、深夜帯の診療の充実を図っていくべきである。人間ドック事業については、高齢化社会が加速するなか、予防医学の観点からも市民の健康管理は重要である。人間ドックの結果に、今年度から始まった特定健診の結果を踏まえ受診者の保健指導を充実させ生活習慣病の予防を図り、その結果として医療費の抑制につなげるよう事業の拡充を図っていくべきである。